

平成28年度博物館施設評価集計シート

施設名 自然の博物館

1. 数値目標による評価

(1) 全館共通項目

評価基準	
目標値の達成度(100%以上)	達成
目標値の達成度(100%未満)	未達

	視点	項目	指標	目標値		評価	目標値の設定根拠
				達成値			特記事項
1	利用状況	利用者数	年間入館者とアウトリーチ参加者数	80,800	人	達成	基準値:70,430人 目標参考値:80,794人
				92,713	人		
2	利用状況	常設展観覧者	年間常設展観覧者数	62,800	人	達成	基準値:54,551人 目標参考値:62,793人
				81,889	人		
3	広聴・広報	事業情報の発信	対マスコミ情報発信件数	410	件	達成	基準値:318件 目標参考値:402件
				568	件		
4	利用状況	経営努力	観覧料および事業等収入額	10,805,000	円	達成	当該年度予算計上額
				13,365,480	円		

(2) 館別独自項目

評価基準	
目標値の達成度(100%以上)	達成
目標値の達成度(100%未満)	未達

	視点	項目	指標	目標値		評価	目標値の設定根拠
				達成値			特記事項
1	資料	収集・整理	新規登録数	800	点	達成	目標数
				4,700	点		
2	資料	展示活用	利用数	2,000	点	未達	目標数
				1,488	点		
3	展示	常設展	満足度	80	%	達成	
				96	%		
4	展示	特別展・企画展	満足度	80	%	達成	
				94	%		
5	学習支援	学校教育への支援	出前授業及び観察指導	50	件	達成	昨年度実績を参考
				87	件		
6	学習支援	社会教育等への支援	外部施設・周辺環境への派遣件数	33	件	未達	昨年度実績を参考
				25	件		
7	情報発信	インターネットの活用	ツイート数	300	回	未達	1日1回(開館日)
				294	回		
8	調査研究	成果発表	研究成果の発表	13	件	達成	学芸系職員一人1件
				26	件		

年度内に取り組んだ重点事業、新たな取り組み等

事業の概要	<p>国指定天然記念物の魅力発信</p> <p>天然記念物コーナーを設置することなどにより、当館の新たな魅力を広くアピールし、入館者の増加につなげる。</p>
事業の実施状況と過程	<p>国指定天然記念物の魅力発信関連事業</p> <p>(1) 「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」解説書の販売(前年度～)</p> <p>(2) 季節展示「祝！国天然記念物指定」の実施((5月2日～6月26日) 天然記念物に指定された秩父地域の露頭(堆積層)や古秩父湾に生息した動物群の化石を紹介。</p> <p>(3) こちちぶわんスタンプラリーの実施(8月1日～10月10日) 秩父地域の露頭などを訪れクイズに答えスタンプを集めた方に当館で記念品(化石)を贈呈。</p> <p>(4) 記念グッズの作成・販売 オリジナルキーホルダー(8月～) 「パレオパラドキシア」オリジナル3Dペーパーパズル(11月～)</p> <p>(5) 古秩父湾をめぐるバスツアーの実施(10月) 当館で化石標本を見学後、露頭をめぐる学芸員が古秩父湾の変遷を説明。</p> <p>(6) 天然記念物コーナーの設置(1月) 天然記念物に指定されたパレオパラドキシア化石6件(うち5件は新たに)、クジラ化石3件の全ての実物化石を展示。また、古秩父湾に生息する生物など当時の海の様子を再現した動画を大スクリーンに投影。</p>
事業の成果	<p>国天然記念物について積極的な情報発信に努めたことで様々なメディアで当館が取り上げられたことや上記(1)から(5)の関連事業の実施により当館の認知度が高まり、入館者の増加につながっている。今後(6)の効果が現れさらに入館者が増加するよう引き続き天然記念物コーナーの魅力を発信していきたい。</p>

基礎データ

職員数 (学芸員数)	19人 (9人)	総予算額 (人件費を除く)	43,712,000円	職員一人あたりの県民人口	38.3万人
収蔵資料総点数	158,191点	事業経費 (上記の内数)	33,536,000円	利用者一人あたりのコスト (平成27年度)	249円
平成27年度 収集資料点数	795点	特定財源予算額 (うち観覧料収入)	10,805,000円 (5,750,980円)	県民人口に対する利用者割合 (平成27年度)	0.86%

(注)平成28年度4月1日現在の埼玉県推計人口は7,268,405人である